

第5回（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会管理部会会議録

- 日時 平成30年3月23日（金）午後3時30分
- 場所 遠軽町役場 3階 大会議室
- 出席者 別紙のとおり
- 会議内容

1 開会

2 議題

進行：宮崎部会長

（1）遠軽町行政評価町民アンケート調査結果報告について【資料1】

説明：地域拠点施設準備室今井

説明要旨
<p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none">・この町民アンケート調査につきましては、町が行っている様々な行政サービスに対して、町民の皆様による評価をいただき、今後の町政運営に反映していくため、毎年実施しているものであるが、その調査表に記載されていた様々なご意見のうち、町民センターの建設に関する意見のみを抜粋して、作成したものがこちらの資料となっている。・全体の報告書については、4月に町ホームページや広報えんがるで公表する予定であり、今回は、公表前に町民センターに関連する部分のみ、委員の皆様にご覧いただくということをご理解いただきたい。・意見については1～52まであり、11・16・17・24・27・30・40のような建設に期待する意見のほかにも、文化センターはいらないという意見など様々である。その他の内容については、後ほどじっくりとご覧いただきたい。・住民の皆様からこのような意見があるということを、委員の皆様にも認識しておいていただきたい。

【意見】

発言者	内容
宮崎部会長	アンケートの結果報告について、何か意見はありますか。
本田委員	検討協議会の委員になってから色々な人と話をしましたが、大体このアンケートに集約されていると思います
事務局	反対意見を書かれた方にも、つくって良かったと言っただけのような施設にすることが私たちの役割だと思います。
本田委員	反対していた方の中には、建設予定地がきれいになって、楽しみになってきたと言う方もいます。少しずつ想像ができてきているようで、良かったと思います。
宮崎部会長	少しずつ形が見えてきているということですね。何をするにしても反対・賛成の意見はありますが、つくる以上は良いものにするために計画を進めていきたいと思います。

(2) (仮称) えんがる町民センター建設検討協議会管理部会・事業部会委員視察調査について

【資料2】

説明：地域拠点施設準備室今井

説明要旨	
(事務局)	
	<ul style="list-style-type: none">・管理部会・事業部会委員による視察調査については、2月20日に岩見沢市民会館・文化センター「まなみーる」の視察を実施した。・当日は、7名の委員の皆様に参加いただき、施設の見学と管理運営に係る質疑応答について、指定管理者のNPO法人はまなすアート&ミュージックプロダクションの竹内次長に対応いただき、貴重なお話を伺ってきたところである。・今回の視察では、施設の管理運営に関することに重点を置きながら、委員の皆様からも多くの質問をいただき、大変有意義な視察になったと考えている。・視察の内容については、1ページから7ページに当日の質問事項等をまとめたものと、8ページから11ページには施設内部の写真、12ページと13ページには、終了後に委員の皆さんから提出いただいた見学シートをまとめたものに加えて資料として、施設概要の図面と岩見沢市民会館の指定管理に係る収支決算書を添付している。・NPO法人はまなすアート&ミュージックプロダクションは、この施設の指定管理に対する熱意が非常に高く感じられた。指定管理のプロポーザルのために、1年前から準備を進められ、太田アドバイザーのアドバイスを受けながら現在の管理に至っているということ、その存在も大きかったのではないかと。・職員については、舞台業務は札幌の会社に委託しているが、営業所を岩見沢市に移してもらい、対応する職員すべてが岩見沢市民として、利用者への対応などに配慮しながら施設の管理運営を行っているということだった。・施設の維持管理では、ランニングコストの低減を図るために、ロードヒーティングを止めるかわりに除雪をまめに行うなど、様々な苦勞をされているようだった。・施設の見学では、大道具の搬入口や舞台にも十分な広さが確保されており、ホールの座席のゆとりも充分であり、使い勝手の良さを感じた。また、1,183席の大ホールは、岩見沢市でも、なかなか満席になることはないということをお話していた。・文化センターにある中ホールは、古くはなっているが500席程度のホールとして、演劇やコンサートではちょうど良い広さで、稼働率もそれなりにある施設であった。

【意見】

発言者	内容
宮崎部会長	視察の内容について、何か意見はありますか
本田委員	視察に参加して、施設もそうですが、管理されている方々が素晴らしいと感じました。
宮崎部会長	こちらの施設と比べて、どのように感じたでしょうか。
事務局	やはりホールの奥行など、施設自体はこちらの方が狭くなると思います。こちらで行う事業に合わせて、舞台設備等についても実施計画の中で考えていく部分かと思います。

アドバイザー	遠軽にも大ホールがあって小ホールがあるが、岩見沢には教育大学があることで学生と連携ができることから、ソフトの面で違ってくると思います。加えて、行動力のある職員が周りを巻き込むことで、管理運営やイベントの企画に繋がっています。
宮崎部会長	建物ができあがると、今度はそういったことも大切になってきます。
本田委員	舞台の照明なども、岩見沢ではスタッフがアドバイスをくれて、良い形でやってくれるとのことであり、こちらでは照明の割振などを全て考えなければならず、非常にうらやましく感じました。舞台に関わる方に管理していただけると理想的だと思います。
大西委員	照明や音響にはプロの指導が必要だと思います。オープンから3年くらいは人件費が掛かってでも、そういう人を雇って技術者を育成する必要があると思います。
アドバイザー	管理者側から提案できるような体制が良いと思います。
宮崎部会長	場面ごとに専門的な知識を持った方が必要ということでしょうか。
大西委員	スタート時は必要だと思います。その都度プロを連れてくるという方法もありますが、町民が利用する場において、照明・音響等の技術者が常駐している方が良いと思います。
アドバイザー	新しい機材の操作など、最初はプロがいなければなりません。操作や安全性などを伝えるためにも、少なくとも2年くらいはそういった人材が必要だと思います。
本田委員	利用者が安心して使えるような形が望ましく、利用者の想像を超えるような舞台ができると、すごく気持ちが良いと思います。
アドバイザー	岩見沢はロッカー類が整備されていて良いと感じました。
本田委員	生徒の荷物やスマートフォンなど、先生が一括して預かるようなこともあります。ロッカーがあると助かります。
宮崎部会長	ロッカーは図面にはありませんので、これから考える部分となります。
事務局	そういった意見が管理部会から出てくれば、実施設計の中で検討していくこととなります。
本田委員	情報案内モニターはすごく良いと感じました。
事務局	エントランスから入って、ホワイエのブランディングゾーンの部分に、このような液晶モニターを設置し、館内のスケジュールや町内のイベント情報を映したいと考えています。
本田委員	③掲示板というのは、どのようなものを掲示しているのでしょうか。
アドバイザー	ここには、まなみーるで開催したイベントなどの新聞記事を切り抜いたものを掲示しています。すごく大事なことだと思います。 また、④フロアマップのデザインについても、どこに何があるか、どう行けばいいのか、わかりやすい色合いなどもとても大事で、例えば札幌のデザイン関係の学校に制作を依頼すれば、新しいデザインのものができるし、つながりが生まれます。

(3) (仮称) えんがる町民センターの使用料について【資料3】

説明：地域拠点施設準備室今井

説明要旨

(事務局)

- 管理部会として、昨年11月に管理運営方針の素案を作成したところであるが、使用料金については、ある程度、基本設計内容や施設の維持管理費がまとまらなければ算定することができないということで、保留にしている。
- 今回、基本設計ベースでの概算のランニングコストを算出し、それをもとに、使用料金の案を作成した。
- 1 使用料算定の基本については、管理運営方針（素案）に既定する「使用料金設定の考え方」を基本とする。
- (ア) の使用料金設定の考え方については、施設の使用料金は、受益者負担の原則から、施設の維持管理にかかる経費に見合う適正な負担を求めため、使用料金の原価は、施設等の維持管理や運営のために要する人件費、物件費などの費用を考慮するとともに、受益者負担割合については50%として算出する。また、町内の公共施設やオホーツク管内における類似施設の使用料金との均衡について十分考慮する。
- (イ) の使用区分については、貸出しの対象となる諸室全てを時間単位とする。
- 2 算定に係る留意事項について、(1) 原価の対象（受益者が負担すべき経費）は、サービスの提供に際し、直接関係する経費として、人件費、需用費、委託料、その他経費としている。
- (2) 暖房料は、町内公共施設の使用料との整合性を図るため、規定料金の5割増の額とする。なお、冷房料についても、同様とする。
- (3) 超過料金は、超過した1時間の使用料としまして、1時間未満は、1時間とみなす。
- (4) 営利目的等については、入場料を徴し、又は物品等の販売、その他これらに類する目的のため使用する場合の使用料は、規定使用料の10割増の額を徴収する。これについても、他の公共施設の使用料に準じて設定する。
- (5) の端数処理については、使用料を算定する際に、100円未満の端数の整理として、10円単位が50円を超えた場合は切り上げ、50円を下回った場合は切捨て、50円丁度の場合は、状況により50円丁度とする場合があることとする。
- (6) 行政財産の貸付については、通常の貸館とは別に、商工会議所に貸付けする事務室と、楽々に貸付けする厨房の貸付料を算定するものであり、遠軽町行政財産使用料徴収条例の規定により算定する。
- 条例の抜粋に記載しているが、加算料金としては、水道、ガス、冷暖房、清掃、火災保険料に要する経費を使用料の額に加算することができる。
- 別表第1の使用料算定基準（年額）としては、建物の台帳価格に100分の9を乗じた額が建物使用料とする。
- (7) のその他について、使用料算定に当たっては、基本・実施設計内容に応じて、室面積や年間の維持管理費が変更となる場合がある。また、施設管理に必要な職員の人件費によっても使用料原価が変動することになるので、実施設計終了時に、備品使用料を含めて、最終的な使用料を算出したいと考えている。
- 3 算定資料については、次ページ以降に資料①から⑤を添付している。

- ・ 4 検討事項については、(1) 貸出諸室は適正かどうか、(2) 町内の公共施設やオホーツク管内における類似施設の使用料金との均衡が図られているかどうか、(3) 大ホール及び小ホールについては、土日祝日を別料金としたり、舞台装置（照明・音響等）込みなどの料金設定をするかどうか、(4) 全日及び全館貸付の料金設定をするかなどについて、協議をお願いしたい。

【意見】

発言者	内容
宮崎部会長	まずは資料①の貸出諸室の設定について適正か、何か意見はありますでしょうか。
村上委員	2階のホワイエ3・4について貸出する部屋となっていますが、自由に利用できる空間と思っていました。部屋は区切られるのでしょうか。
事務局	オープンなスペースではありますが、ここが無料であれば他の会議室が使われなくなることが懸念されるため、額の補正をして200円/時の定額と設定しています。
井上委員	区別が難しいと思います。
村上委員	例えばホワイエ3を予約していた場合、一般の方や高校生などが入れないような制限をしなければならないと思います。
事務局	そういった手間も発生するため、考えなければなりません。例えば楽屋を利用する場合、人数的にはホワイエ3でも入れると思うので、そういう利用も考えられます。
村上委員	楽屋はステージを使う方は無料で使えるものかと思っていました。
事務局	施設によってまちまちです。
本田委員	ダンスの場合は練習する人数が少なかったり、打合せを事前に行っている場合など、全く楽屋を使わないこともあります。本番は楽屋を使いますが、練習は大抵、客席側に座ってしまいます。基本的には楽屋を使えば料金がかかります。
事務局	最も安いのがホワイエ3・4になります。周りの音が聞こえるという点で安くしています。
本田委員	最も安いということで、使われる頻度も多いのではないのでしょうか。音が気になるのであれば、密室を使う形になると思います。
事務局	パーティションで区切ることも可能だと思います。また、2階部分なので、日常的に使われる頻度は低いと思います。とても難しい部分ではあります。
アドバイザー	全体を見ると、町民の誰もが使える「町民活動室」のような部屋があると良いと思います。無料のそういう部屋があると、どういう活動をしようかという打合せなどで使うことができ、すごく便利で集まりやすく、多目的室やホールの利用が増えて、自然と活動が促進されると思います。砂川では事務室の中に「市民活動室」があり、市民が自由に使える空間となっており、活動のための無料のスペースがあると、次の段階の促進のためには有益だと思います。

	ます。
村上委員	ホワイエではどうなのでしょう。
アドバイザー	やはり、仲間だけでという形が良いようです。
伊藤委員	2階のホワイエ3・4については、料金を取るのであれば、ホワイエという言葉を使わない方が誤解を招かないのではないのでしょうか。
井上委員	少し腰かけるようなところは必要だと思います。また、決して環境の良いところではないので、そこで打合せすることはあまりないと思います。
村上委員	有料にするなら、パーティションなどで仕切る必要があると思います。
伊藤委員	透明なガラスで仕切る方法もあるのではないのでしょうか。
井上委員	どのホールでもこういった憩えるスペースはあります。
宮崎部会長	自由に使えるスペースの方が良いという意見が多いようです。
大西委員	有料にするにはオープンな空間にはできないと思います。
事務局	他のホールでは、イベントがない時などは鍵をかけた、行けないような制限をしたりするところもあります。ただ、吹奏楽の練習などで学生が頻繁に来る場合、こちらでも良く使われると思います。
伊藤委員	あまり慌てる部分ではないかもしれません。
事務局	あくまで使用料は条例に規定するものになりますが、指定管理者はその範囲内で料金を設定できるので、高くすることはできませんが安くはできます。ただ、最初に高くしてしまうと、高いイメージが植えつけられ利用に影響が出てしまいます。
伊藤委員	町民の憩いの場という大きな観点で言えば、できるだけ細かく決めることは避けたいと思います。
村上委員	指定管理者もここは無料にするのではないのでしょうか。町民もどこが座っていい場所なのか戸惑ってしまうと思います。
事務局	簡単な打合せ程度であれば、無料にした方が良いのかもしれませんが、きちんとした会議などは多目的室を使っていただくような形が望ましいと思います。
アドバイザー	普及やコミュニティ重視であれば、無料の方が皆さんに喜ばれると思います。
事務局	岩見通に面している部分であり、にぎわい創出の意味でも、無料の方向で考えたいと思います。
アドバイザー	学生などが集う場所になると思います。
事務局	2階のラウンジにはスマートフォンの充電設備の設置も検討しています。太陽光発電の電力を利用したいと考えています。
本田委員	それも高校生は喜ぶと思います。
村上委員	交流ホールについても、貸出する部屋となっていますが、小ホールを使った場合は無料で貸しても良いのではないのでしょうか。
本田委員	交流ホールは、小ホールの使用中はパーティションなどで仕切るのでしょうか。
事務局	こちらは、左下の事務室横の横に自動ドアがあり、逆側にも仕切りが入るた

	め、完全に隔離されたスペースにすることができます。ここはプレイゾーンということで、子ども達の遊具を配置する予定ですが、小ホールと一体で利用する際には、遊具を片付けることが可能です。そういったことから、今回はスライディングウォールを稼働させる場合は補正率1.2倍として考えています。
本田委員	普段、イベントがないときの子ども達の利用は無料でしょうか。
事務局	その様に考えています。
伊藤委員	ビアパーティーの利用で、ここまで使うことがどれくらいあるかわかりませんが、その他では商業的な利用が考えられます。営業目的となってくると、別立てで考える必要もあると思います。
本田委員	ビアパーティーの利用の際は、貸す方がどこまで使うかの確認をすると思います。
村上委員	そうすると、当初の考え方で良いかと思います。
宮崎部会長	そのような方向で進めていきたいと思います。
本田委員	エレベーターは2台必要なのでしょうか。
事務局	エントランスホール側のエレベーターは、ストレッチャーや大きなパネルなどにも対応した大きめのものを想定しています。公共歩廊側のエレベーターは、岩見通側から入ると4mの高低差があり、お年寄りや体の不自由な方にとっては必要であると考えています。なお、こちらのエレベーターは2階には行きません。
宮崎部会長	資料⑤について、意見はありますでしょうか。
村上委員	算出方法について、こういった計算が一般的なのでしょうか。
事務局	自治体ではこういった維持管理費をベースに算出する形がほとんどです。昔は建築費も含めて設定していたというところもありますが、そうするとものすごく高い料金設定になってしまいます。
村上委員	稼働率76.1%については、平成28年度の全国平均ということですが、果たしてこれが妥当なのでしょうか。人口2万人の遠軽町が全国平均と比較していいものなのか、現実的に76.1%の稼働率はなかなか難しいと思います。
アドバイザー	この稼働率は、かなり高い数字だと思いますが、学校の利用など減免を受けたものについてもこれに入ってきていますので、実際の稼働率はもっと下がります。
事務局	全国公立文化施設協会の数字では都道府県の平均値が82.9%、政令指定都市が84.7%、市や特別区が80.6%、町村が76.1%となっています。
村上委員	全国の公立文化施設はホールや市民センター的なもの以外の文化施設など、極めて稼働率の高いものも含まれていることが考えられます。
アドバイザー	会議室を借りるのもホールを借りるのも一緒たになっているので、ホールだけの数字でいくと、すごく低くなります。
伊藤委員	オープン当初は張り切って使う方が多いと思いますが、翌年以降はだんだん稼働率が下がってきて、5年、7年とたった時に横ばいで推移している施設

	がどれくらいあるでしょうか。利益を上げていくには、最小限、どこに設定するのかということだと思います。
アドバイザー	砂川ではこの10年間、右肩上がりになっています。例えば、社員研修などで会議室を使った会社から「設備が充実している」といった口コミが広がり、稼働率が上がっているということもあります。
伊藤委員	黙っていても来るだろうと思っでは、大きな間違いになります。
アドバイザー	最近では事務の簡素化が進んでおり、ホールを借りる場合は楽屋は無料だとか、照明などもセット料金として、少し明るくするだけの会議ではAセット、もっと照明を使う場合はBセットといったような設定をしているところが増えていきます。暖房費についても最初から会場費に含んだ考え方となります。
伊藤委員	公共料金の見直しについては、どれくらいの間隔で行っているのでしょうか。
事務局	大体4～5年に1回かと思います。なお、行政改革で行っている料金見直しの際の積算基準は、今回の方法と全く同じです。
宮崎部会長	そういった根拠の上での数字ということになります。逆に、例えば60%の稼働率という数字も根拠のないものとなってしまいます。
アドバイザー	例えば深川では会議室がなく、劇場しかありませんので、稼働率は低くなります。
事務局	岩見沢では50%を切っています。また、その点については他の自治体にも聞いてみたいと思います。
本田委員	比較対象があると良いと思います。
大西委員	美幌ではとにかく利用してもらうように、安く設定しているようです。
事務局	使い倒すということでは、それくらいの発想も必要かもしれません。また、文化連盟に所属する団体は使用料が減免される制度もあります。
本田委員	それについては、文化連盟に所属しているのに、そういった制度を教えてください、減免にならなかったということがありました。できれば親切に教えていただくとありがたいと思います。
大西委員	美幌では大ホールは5千円/時で、町民が使う場合には1回目9割減免、2回目以降は5割減免といった、とても安い料金設定にして稼働率を上げているようです。
事務局	1回目をどこで使うのかということが大事になります。
宮崎部会長	この点については、改めてということにいたします。土日祝日の料金の考え方についてはいかがでしょうか。
事務局	北見市や紋別市などは土日祝日の料金を設定しています。
アドバイザー	最近は土日祝日も同じ金額にしているところが多いと思います。また、土日祝日は家族で過ごすという方が増えており、チケットも売れなくなっているようです。また、借りる側も土日祝日が高ければ平日に借りるようになってきています。
本田委員	次の日が休みなので、金曜日が人気です。
村上委員	先ほどの料金の計算方法では、年間ならした形で計算していたので、土日祝

	日が高くなってしまうと、その計算方法も変わってきてしまうと思います。土日祝日を上げるのであれば、平日は下げるとなると、計算が狂ってしまうのではないのでしょうか。そういったことから、土日祝日の金額を上げるのは難しいと思います。
伊藤委員	差をつける必要はないように感じます。
アドバイザー	かつて日本舞踊や民謡の最盛期では、土日の利用が多く、特に秋口は毎週それらで予約が埋まっていたのですが、最近では少なくなってきたようです。土日祝日に使う団体が増えることはないかもしれません。
本田委員	土日は家族での予定を入れる人も多く、料金が上がってしまうと余計に借りづらいように感じます。
井上委員	私たちの吹奏楽の団体では逆に土日に使う方が多く、平日と同じ金額だとありがたいです。
村上委員	冷暖房料の50%増しについては、希望があればということですが、福祉センターや木楽館では、11月から3月までは無条件で加算しています。
本田委員	紋別では12月に借りる際、暖房を入れるかの確認をされました。体を動かすため、暖房の必要がなく、暖房費は加算されませんでした。
伊藤委員	そのためには部屋ごとに設備をしなければならないと思います。そこでの建設費用も上がることとなり、整合性を取らなければなりません。
大西委員	設計の中で、こういった冷暖房設備を考えているのでしょうか。
事務局	個別に調整できるようなものを考えています。
村上委員	先に使っていた団体は冷房を使用せず、次に使う団体は暑い状態から使い始めるなど、切れ目のところでそういったことが起きてきます。
アドバイザー	片付けの時間を含めて30分から1時間は空けると思うので、その点は大丈夫だと思います。ただし、大ホールの場合は空間が大きく、暖めたりするのに何時間もかかりますので、冷暖房は部屋代に入っているという形が良いと思います。
伊藤委員	大ホール及び小ホールの料金と、それ以外の会議室などの料金は、別に設定した方が良くないのでしょうか。そうすれば整理が付きやすいと思います。
村上委員	木楽館では研修室が暖まりにくく、午後からの使用の場合でも午前中から暖房を入れています。
宮崎部会長	色々な意見が出ましたが、いかがでしょうか。
事務局	料金については案を作成し、再度、皆様と議論したいと思います。今回、決まったところとしては、ホワイエ3・4は無料とすること、管内施設の稼働率を確認すること、土日祝日の料金は上げないこと、大ホール及び小ホールは暖房費込みの料金設定をすること、となっています。検討事項の「全日及び全館貸付の料金設定をするか」については次回、協議したいと思います。

(4) その他

説明：太田アドバイザー

説明要旨

(事務局)

- 太田アドバイザーより参考資料をいただいております、それについて説明いただく。

(アドバイザー)

- 札幌文化芸術交流センターの現在までの経過や会館までの予定について参考までに紹介する。
- プレイメントやオープニング事業など、こういったものもどんどん進めていかなければならない。
- センター所室の使用例については、施設の様々な使い方について記載されている。
- いかにも市民のワクワク感を育てるかという部分で、色々な事業をしていくために、参考にさせていただきたい

【意見】

発言者	内容
大西委員	企画立案するスタッフをはじめ、ボランティアスタッフも広く集めて、オープンの前段階から、箱はなくても活動していかなければならないと思います。
アドバイザー	企画・提案しながらシミュレーションしていくと良いと思います。
大西委員	人員については、どのようにはめ込むのでしょうか。
事務局	商工会議所の中に、更に8人程度のスタッフが必要と考えています。今の職員がそのまま対応するというではありません。また、職員をどのように育成していくのかも重要であり、自主事業の運営に向けても、早い段階で指定管理者の議決を受けて、早めに進めていかなければなりません。
アドバイザー	大ホール、小ホール、交流ホールに加えて、会議室などでも映像や音響の設備の設定をすることがあり、専門の技術者以外も勉強する必要が出てくると思います。
本田委員	あまり大きくない舞台でも、ダンスの演目では最低でも5人は必要になります。
アドバイザー	スポット的に技術者を呼ぶ方法もありますが、何年後かを見据えてボランティアスタッフを育成していくと良いと思います。また、吹奏楽の学生などには演奏会の際に色々教えて、夏休みなどにはボランティアで手伝ってもらったり、そういった力を借りながら進めていかなければ、人が足りなくなってしまう。
宮崎部会長	オープンが平成33年ということですが、逆算して進めていかなければなりません。
事務局	指定管理者は平成31年の12月には決めたいと考えています。そして、オープンの1年前には施設の予約を開始するイメージです。
アドバイザー	条例の整備なども出てきます。
事務局	札幌市では平成27年度には指定管理者を決めて、進めています。
アドバイザー	プレイメント、オープニングイベントで何をやるかも、早めに決めていかな

	ければなりません。テレビ番組に入ってもらえる方法もあると思います。また、パンフレットをつくって配布するなど、町民のワクワク感を上げるような広報も大事になってきます。
--	--

3 次回の日程について

説明要旨
<ul style="list-style-type: none">・次回は、4月後半の開催を予定している。・事業部会を進めていくにあたって、ヤマハの子会社である北見木材（株）への視察を検討しており、製造過程を見学することは勉強になるものと考えている。

4 閉会

（午後5時00閉会）

第5回（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会管理部会出席者名簿

区分	氏名	団体名等	備考
委員	宮崎良公	遠軽町自治会連絡協議会	部会長
委員	村上武志	えんがる町観光協会	
委員	本田ちづ子	ダンス教室 ami:φアミ	
委員	井上幸次	北見地区吹奏楽連盟遠軽支部	
委員	伊藤栄三	元遠軽町文化センター等を考える会会長	
委員	大西定信	元遠軽町文化センター等を考える会委員	
アドバイザー	太田晃正	有限会社時円プランニング代表取締役	
事務局	今井昌幸	総務部地域拠点施設準備室参事	
事務局	安西一樹	総務部地域拠点施設準備室主任	
事務局	中川原英明	総務部地域拠点施設準備室	
計	10名		

欠席：藤江昭委員（遠軽町社会福祉協議会）
平野由美子委員（フラスタジオ・UEDA）
清水川一儀委員（一般公募、連合遠軽）